

ふれあいひろば

[患者とともにある全人的医療]



耳鼻咽喉科の内視鏡検査

耳鼻いんこう科部長 松山 洋

耳鼻咽喉科の疾患には炎症性疾患（中耳炎や副鼻腔炎、扁桃炎など）や腫瘍性疾患（嚢胞や良性腫瘍、がんなど）、機能性疾患（感覚や動きなどの機能が低下する疾患）など多種の疾患がありますが、ここでは診断するための検査の一つである耳鼻咽喉科の内視鏡について説明したいと思います。

内視鏡と聞くと大変な苦痛を伴うと思われるがちですが、耳鼻咽喉科の内視鏡は速やかに、そして大きな苦痛なく行えるのが特徴であり、それでいて多くの情報が得られます。まず検査前の準備ですが、患者さんが食事を控えたり下剤を飲んだりするといった準備が一切不要です。また麻酔も不要またはスプレーの局所麻酔をするだけで良いので、患者さんが検査の予約をしていなくても受診したその日に検査をすることが可能です。内視鏡の挿入は診察すべき場所によって耳・鼻・口のいずれかから行いますが、いずれの場所も空間が保たれていますの

で内視鏡をすんなりと挿入することができ、痛みは殆どありません。また挿入距離も短いので、検査時間としては30秒以内、長くても数分です。そして耳鼻咽喉科の内視鏡の最大の特徴は、内視鏡の径が細いことです。これは耳鼻咽喉科の疾患の診断には「画質」のみでなく「動き」を見る必要があるからで、例えば声を出す時に声帯がどのように動いているか、飲み込む時の舌や咽頭の動きがどうなっているかなどです。あまり太い内視鏡を挿入してしまうと普段と同様の「動き」が見られなくなってしまうため、耳鼻咽喉科の内視鏡は少しだけ「画質」を犠牲にし、径をかなり細くしております。これらの理由で老若男女問わず検査が可能なのです。料金が約2,000円かかってしまいますので必要な際に検査することにはなりますが、非常に有用な検査です。

検査を希望される場合や検査について詳しく聞きたい方は、是非担当医にお問い合わせください。



写真1.内視鏡検査の実際

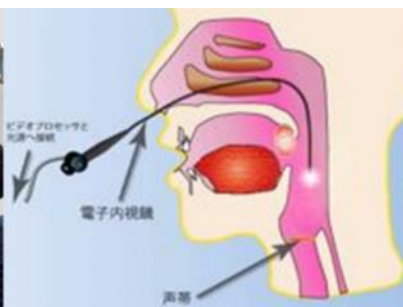


写真2.内視鏡検査の模式図



写真3.実際のノドの所見

きずの治し方

形成外科 田中 宏明

○はじめに

形成外科では様々な「きず」の治療を行っています。外来に来られた患者さん、あるいは他の科で治療されている患者さんを紹介していただくこともあります。一口に「きず」と言っても切り傷・擦り傷といった外傷、床ずれのような慢性的なきずや火傷などその経過は様々です(ここではそれら全ての総称として「きず」と呼びます)。ここではきずを治す際の考え方と、患者さんができる初期対応について述べたいと思います。

○きずを治すには

「きず」に対して医療者が出来ることは、治す手助けをすることです。

- ・ 治るために邪魔になる壊死組織や異物を取り除く
 - ・ 清潔に、また適切な潤いを保つ
 - ・ きずが広がらない/開かないようにする
- などといったことを考えて私達は処置を行っています。そうすると、
- ・ きずの消毒
- きずが治るために必要な細胞も痛めつけてしまい逆効果
- ・ かさぶたがついてきずが治る
- きずが乾いてしまっている
- ・ きずにはアロエを貼れば治る!
- 感染して傷が深くなることも
- というように、昔から行われてきたきずの治療にも誤っているものは多くあります。ということで、実際にきずを負ったらどうしたらいいか?について次項で述べます。

○患者さんができる初期対応

・ 外傷

上で述べたように消毒はNGです。出血がひどい場合は清潔なタオルなどでしっかりきずの部分を押さえましょう。出血が落ち着いていれば、大量の流水で洗浄しましょう。慌てずに対応し、医師の診察を受けてください。

浅く見える擦りきずでも中に砂利などが残ったままになると感染の原因にもなりますし、入れ墨と同じように内部に残ってしまうと後から消すのは大変困難です。



【外傷写真1.2】

砂利の付着した擦り傷も、丁寧に洗うことで、目立たないきずあとに



【外傷写真3】

異物を残したまま、上皮化したため、入れ墨のように色が残ったきずあと



・ 火傷

火傷を受傷したら直ちに流水で患部を冷やすことが肝要です。異物、熱源を洗い流し、冷やすことで障害の進行を抑えることができます。可能なら病院を受診する前に水道で5～30分程度冷やしてから受診してください。ただし、子供の場合は体温が下がってしまわないように注意してください。

一口に火傷といってもその範囲、深度によって重症度は変わります。深い火傷は手術をしないと治らないこともあり、顔面や手などの部位では機能的な障害を残す場合もあります。お早めにご相談ください。



【熱傷写真1.2】

熱傷による火傷
目立つきずあとを残さずに治りました



また、やけどをしないような対策を普段からとるのが大事です。特に子供の火傷は保護者が注意すれば多くの場合回避できます。ポットなどの熱いものを子供の手の届くところに置かない、ランチョンマットなどの上に熱いものを置かない(引っ張って倒れる)など出来る対策を。高齢者のいるご家庭では仏壇のろうそくや湯たんぽ、電気毛布などに注意してください。電気式のろうそくに切り替えるのがオススメです。

東曾野木小学校の皆さんをはじめ 多くの方から感謝のお手紙等をいただきました

広報委員会



5月下旬、東曾野木小学校の生徒さんから素敵な贈り物をいただきました。、同校からのプレゼントは毎年恒例であり、本来であれば、令和2年3月頃に生徒代表が来院され、直接作品を授与してくださるはずでした。

ところが、新型コロナウイルス感染症の影響により小学校が休校となり、当院も原則面会禁止とするなど来院を制限したことから、楽しみにしていた行事はやむなく中止となりました。

このたび緊急事態宣言が解除されるに至り

まして先生が生徒さんに代わり昨年度の作品をご持参くださったことから、無事に受け取ることができました。

頂いた贈り物の一つ一つは、1年生から6年生が、学年やクラスの垣根をこえて協力しあいながら作り上げたもので、それぞれ表情が異なる個性あふれた素敵な絵とメッセージです。院内に掲示された作品を見比べてみるのも、おすすめの鑑賞方法になります。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けた当院における面会制限などの対応については、市民の皆様のご理解と、各関係機関からの多大なる協力をいただきましてありがとうございます。職員一丸となって、普段とは違う診療態勢で、何とか頑張ってきました。

そのような厳しい状況あって、隣接する東京学館新潟高等学校様のほか市内各地で照らされた「青い光」は、私たちの励み、闘うエネルギーになりました。

市内の保育園、こども園や小学校から頂いた素敵なメッセージに心を癒され、市内のみ

ならず県外からも届く感謝や激励の手紙に温かい気持ちになりました。また、多大なるご寄附もいただきました。

それらの一つ一つにお返事することができず、大変心苦しいのですが、皆様に読んでいただける広報誌である、この「ふれあいひろば」の紙面を使い、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

これからも皆様とともに頑張っていけますので、引き続きよろしく願いいたします。

職員一同

登録医の紹介



- 【 医院名 】 とやのメンタルクリニック
- 【 住 所 】 〒950-0964
新潟市中央区網川原2-10-28
- 【 代表者名 】 院長 新藤 雅延
- 【 診療科目 】 心療内科、精神科、内科
- 【 電話番号 】 025-288-3820

【 診療時間 】

月・火・木・金 午前 9:30～13:00
午後 15:00～18:30
土 午前 9:30～12:30

休診日：水曜日、日曜日、土曜の午後

【 特徴と診療方針 】

精神疾患や様々な悩みを抱え
不安や抑うつなど心身の不調を感じている
多くの人々が苦痛から解放され、
自分自身を信じ、自分の人生を生きられるよう
スタッフ一同、
一丸となって最善を尽くすことを
私たちは皆さまにお約束いたします。

URL : toyano-mental.com



当院のホームページにも、バックナンバーを掲載しています。
「新潟市民病院 ふれあい広場」と検索してみてください！

発行元：新潟市民病院 広報委員会
新潟市中央区鐘木463番地7 Tel 025-281-5151

～編集後記～

祖父母の畑にあるひまわりの種から、先日芽が出てきました。ひまわりを見ると元気をもらえるので、たくさん咲いてくれたらいいなと思っている今日この頃です。